

# 平成25年度 事業計画について

平成25年3月1日  
西日本電信電話株式会社

# 平成25年度事業計画の基本的な考え方

- “光”の特性を活かしたオープンな次世代ネットワーク(NGN)の提供とWi-Fiプラットフォームの拡充により、お客様が“より快適で安心・安全に”、“いつでもどこでも何にでも”つながるブロードバンド・ユビキタスネットワーク環境を実現するとともに、お客様の“利用形態に合わせた多様かつ低廉な料金プラン”、ならびに“多彩なサービス”の提供等、光サービスの利用拡大を通じて人々の暮らしを豊かにし、情報流通社会の発展に貢献していく。
- ブロードバンドアクセスやひかり電話などサービスの安定的提供の確保、設備事故の未然防止、大規模災害を想定した設備対策の強化、および災害等有事の際の復旧等における、グループ総力を挙げた活動を通じてお客様の信頼にお応えするなど、安心・安全な社会の実現に貢献する。
- また、厳しい経営環境の中、一層の経営の効率化に努め、引き続き利益を確保する。更には、環境負荷軽減への貢献なども積極的に推進し、将来にわたって安定した事業の発展を期するとともに、これらの施策の成果をお客様、地域社会、また持株会社を通じて株主の皆様へ還元できるように努めていく。

# サービス計画・設備投資計画

## ■サービス計画（純増数）

項目	単位	H24 業績予想		H25 計画	
			修正値		対前年増減
フレッツ光	万契約	40	△25	50	+10
固定電話	万加入	△140	+5	△125	+15
加入電話	万加入	△120	+7	△105	+15
ISDN	万加入	△20	△2	△20	0

(注)ISDNについては、INSネット64とINSネット1500の合算値。(INSネット1500はINSネット64(10倍)換算している)

## ■設備投資計画

項目	単位	H24 業績予想		H25 計画	
			修正額		対前年増減
設備投資額	億円	3,600	0	3,400	△200
(再)アクセス網光化投資	億円	約1,300	0	約1,250	△50

# 収 支 計 画

(単位:億円)

項 目	H24 業績予想		H25 計 画	
		修正額		対前年増減
<b>営業収益</b>	<b>16,320</b>	△130	<b>15,950</b>	△370
IP系収入	6,610	△90	6,870	+260
既存サービス収入	8,230	0	7,520	△710
(再)音声伝送収入	5,810	0	5,210	△600
附帯事業収入	1,480	△40	1,560	+80
<b>営業費用</b>	<b>16,140</b>	+90	<b>15,750</b>	△390
人件費	1,090	0	1,050	△40
経費	10,490	+40	10,350	△140
資本費用	3,890	+50	3,680	△210
租税公課	670	0	670	0
<b>営業利益</b>	<b>180</b>	△220	<b>200</b>	+20
<b>経常利益</b>	<b>260</b>	△240	<b>280</b>	+20

# 持続的な成長に向けて

減収が継続する厳しい状況のなか、安定した収益基盤の確立と事業運営の効率化に取り組み、持続的な成長を目指す

## ■ 「安定した収益基盤の確立」

- 光900万契約の早期達成
  - ・直営チャンネルと外部チャンネルとの2本柱による効率的な販売促進
- アライアンスの推進によるビジネスモデルの転換
- ビジネス営業体制の強化
- クラウドビジネスの推進

## ■ 「事業運営の効率化」

- 業務集約・拠点集約の推進
- 設備投資・経費の徹底的な削減

**本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。**

**また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。**

**将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。**